

# 家庭科における熊大式マネジメントシステムの構築

～生徒の姿を踏まえた授業及び単元の評価を基にした年間指導計画の改善～

奥田隼人, 田口朱美, 瀧ひろ子 (熊本大学教育学部附属特別支援学校)

八幡彩子 (熊本大学大学院教育学研究科)

## 課題

- ◆授業や単元の指導の評価・学習評価を行いながら年間指導計画の改善につなげることが可能なシステムになっているか。
- ◆家庭科の学びが家庭や放課後等デイサービス(以下放デイ)での実践につながっているか。

Key word

つなぐ

## 目的

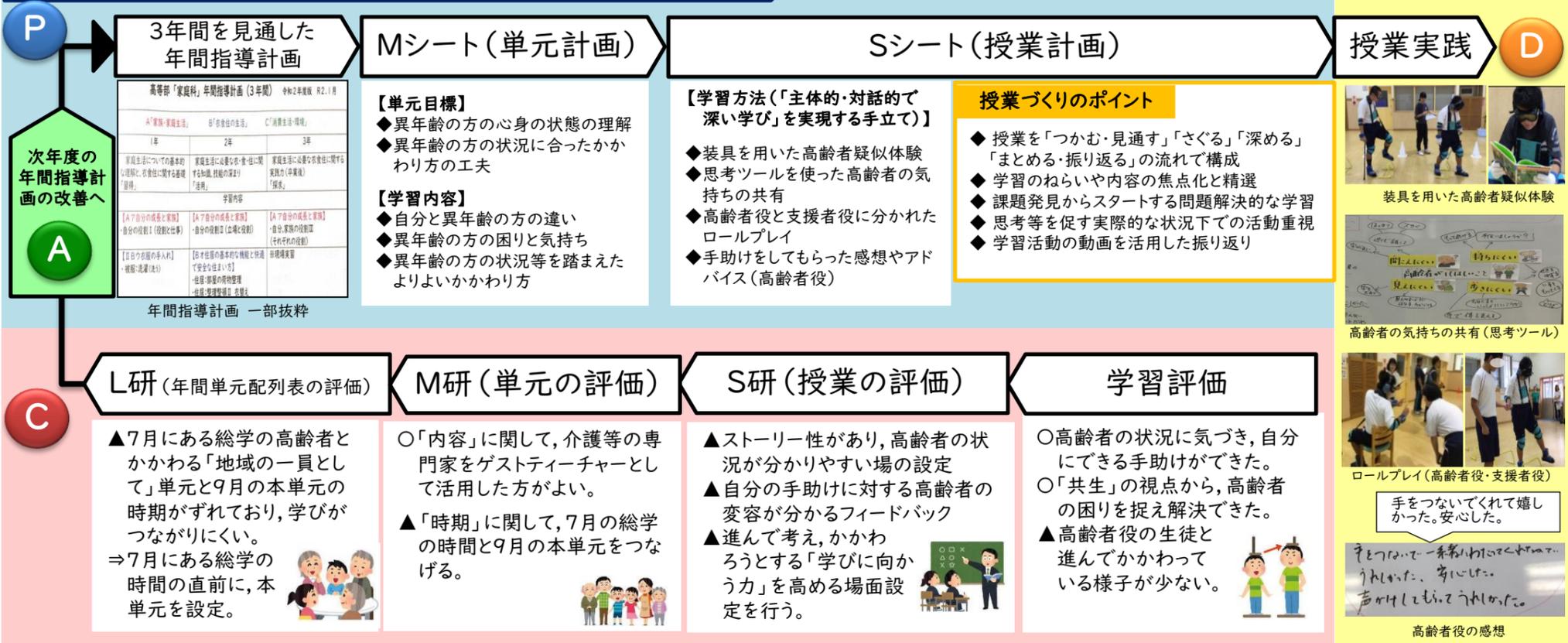
- ◆「3年間を見通した年間指導計画」に基づいた授業づくりシステムの運用と、S研→M研→L研による年間指導計画の改善
- ◆学校での学び・育ちを家庭・放デイに確かにつなぐ連携の在り方の検討

GOAL

- ◆授業・単元・年間指導計画の改善
- ◆学校と家庭・放デイとの連携の充実

## 実践: 単元「異年齢の方とのかかわり方を考えよう！」

### 家庭科における熊大式マネジメントシステム



### 学び・育ちの動画共有による家庭・放デイとの連携

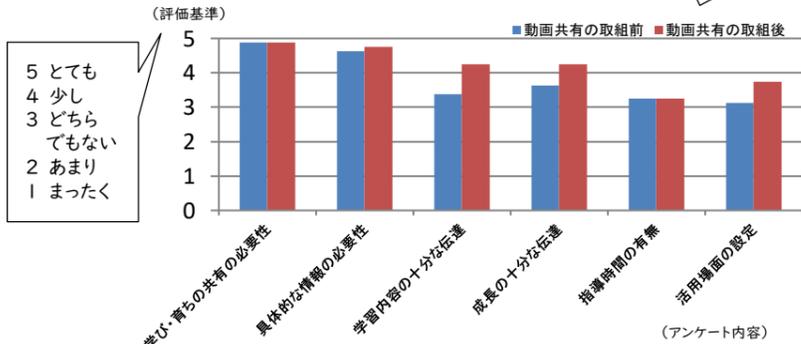


## 結果

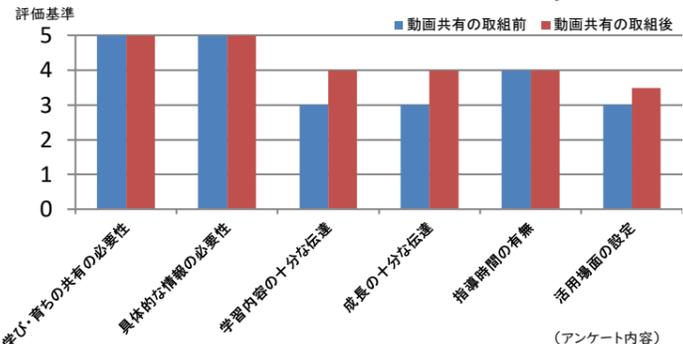
### 熊大式マネジメントシステム構築の成果

- ◆「異年齢の方とのかかわり」の単元を改善するため、総学等、高等部全体の教育課程を視野に入れて、他教科の学びと有機的につなげることができた。
- ◆教育効果が高まるよう年間指導計画を改善できた。

### 動画共有による学校と家庭の連携



### 動画共有による学校と放デイの連携



## 考察

【熊大式マネジメントシステムについて】  
◆S研, M研, L研のそれぞれの段階で何を評価するのかを明確にしたことで、授業・単元・年間単元配列のそれぞれの評価が繋がり、最終的に年間指導計画の改善を実現できた。

◆他教科の学びとのつながりを俯瞰的に捉えるために、各教科等の全ての題材等が時系列に示されているLシートを活用することが有効であった。

【学び・育ちの動画共有による家庭・放デイとの連携について】  
◆学習内容や成長が伝わりやすくなったことで、保護者や指導員が活用場面を設定しようとする意識の変容につながった。  
◆家庭等では、家事等について教える時間や活用する機会が十分でないことが窺われる。学校で基礎的・基本的な知識・技能等を確実に身に付けられるようにすることが必要である。  
◆家庭科の特性上、学校での学習だけでなく、家庭や放デイとの連携により、家庭科で育成する資質・能力が確実に育まれていくことが確認できた。  
◆家庭や放デイとの更なる連携強化に向け、互いの強みを理解し、適切な役割分担をしていく必要がある。

## まとめ

- ◆年間指導計画改善のサイクルをシステム化することで、PDCAのつながりが明確になり、日々の授業や単元等の課題を改善できる。
- ◆学校・家庭・放デイでの動画共有による学び・育ちの見える化により、家庭科の学びが家庭や放デイでの実践につながられる。

## 八幡校長より

高等部では、令和2年度から新学習指導要領の移行期間となる。熊大式マネジメントシステムを活用したスムーズな新内容への移行を期待する。家庭・放デイとの連携をさらに進め、評価にも加わっていただき、「社会に開かれた教育課程」を実現してほしい。